

いまだきの禁煙治療

1. どんな治療をするの？

受診時期	治療内容
治療前の問診・診療	禁煙治療のための条件の確認
初回診療	① 診察 ② 原則、呼気一酸化炭素濃度の測定 ③ 禁煙実行、継続に向けてのアドバイス ④ 禁煙補助薬の処方
再診 1 (2週間後)	
再診 2 (4週間後)	
再診 3 (8週間後)	
再診 4 (12週間後)	

2. 費用はいくらかかるの？

		ニコチンパッチの場合*6		バレニクリンの場合*6	
		費用	自己負担額 (3割負担として)	費用	自己負担額 (3割負担として)
診療所	初診料+再診料*1	7,780円	5,830円	7,780円	6,040円
	ニコチン依存症管理料*2	9,620円		9,620円	
	院外処方せん料*3	2,040円		2,720円	
保健薬局	調剤料*4	2,910円	7,260円	6,370円	13,920円
	禁煙補助薬*4	21,280円		40,040円	
合計		43,630円	13,090円	66,530円	19,660円

*1 禁煙のみを目的に、診療所で治療を受けると仮定。再診料には外来管理加算を含むと仮定。

(注) 他の疾患の治療にあわせて禁煙治療を受ける場合、初診料および再診料については重複して支払う必要はありません。

*2 5回の通院全てを対面で行うものと仮定。

*3 院外処方で、禁煙補助薬のみ処方されると仮定。

*4 調剤基本料1で算出。調剤料のほか、一般的な薬剤服用管理指導料を含むと仮定。

*5 禁煙補助薬を標準的な用法・用量で使用すると仮定（ニコチンパッチは8週間、バレニクリンは12週間）

*6 上記費用は2020年4月に改定された診療/調剤報酬点数に基づいて算出。

3. 禁煙治療薬ってどんな薬？

ニコチンパッチ*	ニコチンガム	バレニクリン
		
<ul style="list-style-type: none"> 健康保険が使えます。 ニコチンを皮膚から吸収させる貼り薬です。 毎日1枚皮膚に貼り、離脱症状を抑制します。 禁煙開始日から使用し、8週間の使用期間を目安に貼り薬のサイズが大きいものから小さいものに切り替えて使用します。 高用量の剤形は医療用のみです。 	<ul style="list-style-type: none"> 薬局薬店で購入します。 口の中の粘膜からニコチンを吸収させるガム製剤です。 タバコを吸いたくなった時に、1回1個をゆっくり間をおきながらかみ、離脱症状を抑制します。 禁煙開始日から使用し、12週間の使用期間を目安に使用個数を減らしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険が使えます。 ニコチンを含まない飲み薬です。 禁煙時の離脱症状だけでなく、喫煙による満足感も抑制します。 禁煙を開始する1週間前から飲み始め、12週間服用します。

*一般用医薬品にもニコチンパッチがありますが、ここでは医療用のニコチンパッチについて説明しています。